

新進演奏家育成プロジェクト

オーケストラ・シリーズ 第87回広島

Contrabass

Shoya Ito



コントラバス

伊藤 翔也

〔愛知県立芸術大学 在学中〕

ボッテジニ

グランドアレグロ

「メンデルスゾーン風」

Violoncello

Ryohei Yamada



チェロ

山田 亮平

〔東京藝術大学 在学中〕

エルガー

チェロ協奏曲

ホ短調 Op.85

Marimba

Tomoki Saito



マリンバ

齋藤 朋輝

〔エリザベト音楽大学大学院 在学中〕

三宅一徳

マリンバ協奏曲

「Elpis」

Tuba

Sakushu Kawada



チューバ

河田 朔秀

〔エリザベト音楽大学 在学中〕

ジョン・ウィリアムズ

チューバ協奏曲

2026 1/29 THU

開演18:30 [開場18:00]

JMSアステールプラザ大ホール

入場料

全席自由 2,500円^(税込)

チケット

2025年12月23日(火)発売

ローソンチケット(Lコード: 62357)

チケットぴあ(Pコード: 314-198)、広響事務局

※都合によりプログラム等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。



指揮: 末廣 誠

主催: 公益社団法人日本演奏連盟 共催: 公益社団法人広島交響楽協会
制作: 公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人広島交響楽協会 後援: 中国新聞社
お問い合わせ: 広響事務局 TEL.082-532-3080[平日 9:00~17:20受付]



助成:
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(芸術家等人材育成))
独立行政法人日本芸術文化振興会



管弦楽: 広島交響楽団

オーケストラ・シリーズ 第87回広島



[コントラバス]

伊藤 翔也

Shoya Ito, Contrabass

三重県松阪市出身。広島なぎさ高等学校を経て、現在愛知県立芸術大学音楽学部2年に在学中。高校の管弦楽部でコントラバスをはじめ、中島盛雄氏に手ほどきを受ける。これまでに皆川直輝、渡邊玲雄、佐渡谷綾子の各氏に師事。第45回広島県高等学校音楽コンクール管弦打部門最優秀賞。第38回広島サマーコンサートに出演。小・中・高校生を対象としたレッスン、オーケストラへのエキストラ出演、2026年1月に広島でリサイタルを行うなど、愛知県と広島県で演奏活動を行っている。

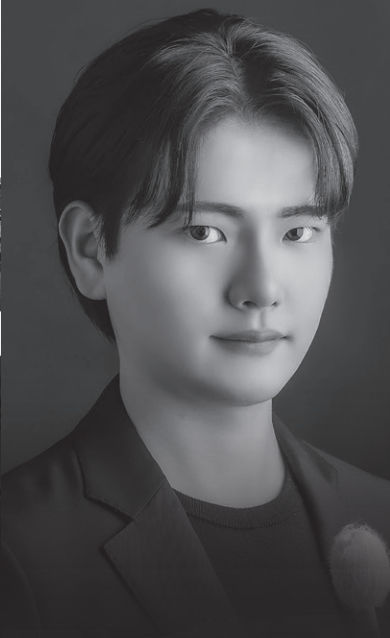


[チェロ]

山田 亮平

Ryohei Yamada, Violoncello

三重県出身。4歳よりチェロを初め、10歳より三重ジュニア管弦楽団に所属し、同楽団にて協奏曲を共演する。京都市立京都堀川音楽高等学校を経て、現在東京藝術大学2年次に在学。第26回みえ音楽コンクール弦楽部門高校生の部第1位ならびに岡田文化財団賞、同コンクール第29回大会大学生の部第1位ならびに入賞者演奏会出演、第77回全日本学生コンクール大阪大会第3位等受賞。現在、古楽器とモダン楽器の奏法について研鑽をする。これまでにチェロを武澤秀平、高木俊彰、佐藤馨、花崎薫に、バロックチェロを懸田貴嗣にヴィオラ・ダ・ガンバを森川麻子の各氏に師事。



[マリンバ]

齋藤 朋輝

Tomoki Saito, Marimba

山口県宇部市出身。エリザベト音楽大学演奏学科打楽器専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。大学院在学中、学長表彰を受ける。第30回KOBE国際音楽コンクール打楽器C部門最優秀賞及び神戸市長賞。2024年西日本打楽器協会の推薦を得て、全日本打楽器連盟フレッシュコンサートに出演。第29回おきでんシュガーホール新人演奏会入選。第3回富士山河口湖音楽祭にて塚越慎子、池上英樹の両氏によるマリンバ・打楽器マスタークラスを受講。現在、エリザベト音楽大学大学院修士課程に在学中。マリンバを神谷百子、打楽器を小川裕雅、貞国泰子の各氏に師事。



[テューバ]

河田 朔秀

Sakushu Kawada, Tuba

広島県広島市出身。岡山学芸館高等学校を卒業後、エリザベト音楽大学にソリスト奨学生として入学し、現在同大学音楽学部3年に在学中。第39回中国ユース音楽コンクール管楽器部門において優秀賞を受賞。ハイク・トリーベナー氏のマスタークラスを受講。ジュニアウインドオーケストラ広島第1期生。テューバをこれまでに黒木聡太、渡辺功、林裕人、鈴木浩二の各氏に師事。

指揮／末廣 誠

1959年、鹿児島県生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科卒業後、桐朋学園大学研究科修了。指揮を堤俊作、秋山和慶、ハインツ・レーグナーの各氏の師事。1991年、第4回フィテルベルク国際指揮者コンクールで優勝するとともに、オーケストラ特別賞を受賞。これを機にポーランド各地のオーケストラに客演し、ポーランド放送クラクフ交響楽団では客演指揮者を務めた。また、シレジア歌劇場で上演した《トスカ》がヨーロッパでのオペラ・デビューとなり、以降定期的に客演。これまでに、ポーランド国立放送カトヴィツェ響、シレジア・フィル、ウッチ・アルトウール・ルービンシュタイン・フィル、台北市立響等に客演している。帰国後は群馬交響楽団と札幌交響楽団の指揮者を務めた。日本全国の多くのオーケストラにも客演。1999年、ジャズ界の巨匠チック・コリアと共演し、絶大な信頼を寄せられた。多彩なジャンルに精通し広範なレパートリーを誇るが、なかでもオペラやバレエの舞台作品において発揮される深い洞察力、演劇的表現を音楽と結び付ける手腕には定評があり、常に高水準の演奏を引き出す技術は高く評価されている。執筆活動もさかんで、2007年レッスンの友社より『マエストロ・ベンのお茶にしませんか?』を刊行。曲目“快”説と題したプログラム解説やエッセイなど、その機知に飛んだ洒落な文章は多くのファンを得ている。東邦音楽大学では特任准教授を務めた。



管弦楽／ 広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を拠点に“Music for Peace ～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2024年よりクリスティアン・アルミンクが音楽監督に、徳永二男がミュージック・アドバイザーに就任。下野竜也が桂冠指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。2023年には創立60周年を迎えた。これまでに「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」「ENEOS音楽賞洋楽部門奨励賞」ほか受賞歴多数。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。